

災害に備えて用意しておくもの

1. 非常持ち出し袋

※非常持ち出し袋は、一度背負ってみて重すぎないか確認してみましょう。

(1) 日頃から袋に入れて保管しておくもの

☐ 懐中電灯	☐ 携帯ラジオ	☐ 予備の電池や充電器
☐ ロープ	☐ ろうそく	☐ マッチ・ライター
☐ ティッシュ	☐ ビニール袋	☐ 洗顔用具
☐ タオル	☐ 非常食	☐ 飲料水
☐ 缶切り・栓抜き	☐ 下着類・衣類	☐
☐	☐	☐

(2) 避難する際に袋に入れて持ち出す貴重品

☐ 現金	☐ 印鑑	☐ 預金通帳
☐ 免許証	☐ 健康保険証	☐ 権利証書
☐ マイナンバーカード	☐	☐

(3) 人により必要となる持ち出し品

☐ 眼鏡やコンタクトレンズ	☐ 補聴器	☐ 病人やお年寄りの常備薬
☐ ベビー用品	☐ 生理用品	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐

2. 避難する時に役立つもの

☐ 笛	☐ 避難用の運動靴やスリッパ	☐ カッパなどの雨具
☐ 足元の安全を確認する棒	☐ 軍手	☐ ヘルメット
☐	☐	☐

3. 地域が孤立してしまった場合を考えて、用意しておく役立つもの

☐ 米（アルファ米や缶詰）	☐ 水（※一人一日約3リットル必要）	
☐ 皿、コップ、割り箸、ナイフ	☐ 毛布、寝袋	☐ カセットコンロ
☐ 使い捨てカイロ	☐ キャンピング用品	☐ 床に敷くシート
☐	☐	☐
☐	☐	☐

※これ以外で用意しておくべきだと思うものがあれば、空欄の部分に物品名を記入してください。

朝日村

古見区
横出ヶ崎地区

令和5年6月作成

BOUSAI MAP 防災マップ

災害による犠牲者を地域から出さないために…
私たちがやるべきことをまとめました



作成：古見区（横出ヶ崎地区）

土砂災害への備え 七箇条

近年の大型台風や突発・局所的な豪雨による土砂災害などの風水害の発生に備え、村から避難情報が発令される前でも地域の状況を判断し、自主避難ルールに従って行動してください。

《日頃からの備え》

其ノ一 避難場所を確認する

…『土砂災害緊急避難地図』で、避難所や **地区内の安全な場所** を確認しておきましょう。

其ノ二 地域の土砂災害危険箇所・避難経路を確認する

…『土砂災害緊急避難地図』で、自宅周辺の危険箇所や **避難経路** を確認しておきましょう。

其ノ三 地区長や近所の方との連絡方法を確認する

…”避難の呼びかけ”は3ページの **連絡体制** に従って行います。

《降雨時の対応》

其ノ四 雨量に注意する

…雨が降り出したら、ワンカップを使って各自で雨量を計測する習慣をつけましょう。

其ノ五 自宅周辺の様子に注意する

…雨が降り出したら、**自宅周辺の様子に注意** を払う習慣をつけましょう。

其ノ六 “いつもと違う”と感じたら、すぐに報告する

…警戒が必要な雨量に達したり、『土砂災害緊急避難地図』に記載されている現象や **予兆現象** を確認したら、すぐに **報告体制** に従って報告しましょう。

《緊急時の対応》

其ノ七 みんなで協力して避難する

…”避難の呼びかけ”があったら、隣近所で声をかけあってすぐに避難しましょう。
一人で避難することが困難な方への支援も、**隣近所で協力して対応** しましょう。

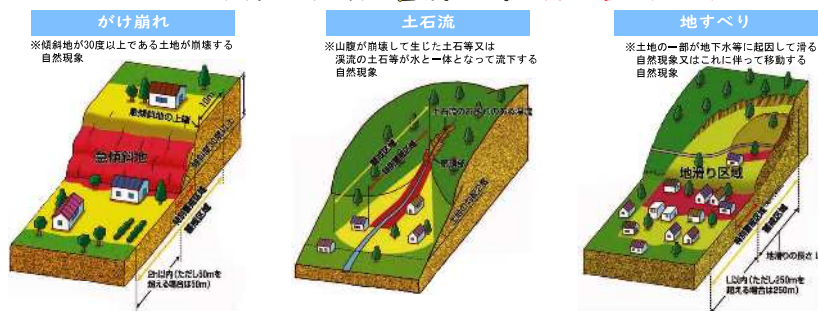
メモ帳

土砂災害の基礎知識

がけ崩れや土石流、地すべりが発生した場合、被害を受ける恐れのある区域について県が土砂災害(特別)警戒区域として指定しています。

該当地区にお住まいの方は、大雨時には警戒避難が必要となる可能性があるため、避難場所の確認や避難経路の確認など、日頃からの備えが必要です。

土砂災害の種類と警戒区域・特別警戒区域



土砂災害の予兆現象に注意しよう

土砂災害が発生する前には、予兆現象が確認されることがあります。大雨が降り始めた時には、周囲の様子に注意して、次のような現象を発見したら、直ちに避難を開始しましょう。行政機関の情報に依存しすぎず、自らの判断で避難する事が重要です。

◆土石流の発生前には…



◆がけ崩れの発生前には…



◆地すべりの発生前には…



◆この他にも…

『地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする』、
『ものの腐ったような臭い(腐葉土、下肥の臭い)がする』、
『小動物が異常行動(騒ぐなど)をとる』、などの現象が見られることがあります。

出典：長野県建設部砂防課 土砂災害住民主導型警戒避難体制構築マニュアル

村からの避難情報

■降雨時には、特に土砂災害の発生に注意しましょう

土砂災害の多くは、水(降雨、地下水)が関与しています。次のような雨が降ったら、土砂災害が発生する危険性が高いので注意してください。

1時間に20mm以上の雨 …車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨
連続雨量で100mm以上の雨 …雨が降り出してから、10cmのコップから水があふれる

■行政からの情報に注意しましょう

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保	大雨特別警報 氾濫発生情報
＜ 警戒レベル4までに必ず避難！ ＞			
4	災害の おそれ高い	避難指示 危険な場所から全員避難	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
3	災害の おそれあり	高齢者等避難 危険な場所から高齢者等は避難 ※1	大雨・洪水情報 氾濫注意報等
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報 氾濫注意報等
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

※1 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

自主避難のルール

1. 避難場所

【安全に避難できる段階で避難が必要と判断した場合】

鉢盛中学校

(一時集合場所 横出ヶ崎コミュニティセンター)

または 親戚、友人宅など村内に限らずより安全な場所

※村指定避難所の開設は状況により村が判断します。避難する前に役場(99-2001)に問い合わせてください。

2. 避難を始める目安

- ① 雨の降りはじめから各世帯が寸胴容器(ワンカップ等)で簡易雨量観測を行い、以下のいずれかの状況になった場合

連続雨量 100mm

(降りはじめから10cmたった場合)



時間雨量 20mm

(1時間で2cmたった場合)

▼ワンカップ雨量計の作り方
容器の底から1cm刻みの目盛りをマジックペンなどで書く。

▼雨量計の設置場所
雨をさえぎるものがない平坦な場所に、壁や木から離し水平に固定する。



- ② いつもと違う現象(災害につながると思われる予兆)を確認した場合

- ③ 朝日村役場から『避難指示』が発令された場合(警戒レベル4)

※高齢者はその前に避難を開始

住民が上記①、②の状況を確認したら、次の報告体制にしたがって報告する。

報告体制

住民



班長



地区長

地区長は以下の連絡体制にしたがって、“避難の呼びかけ”をする。

連絡体制

住民



班長



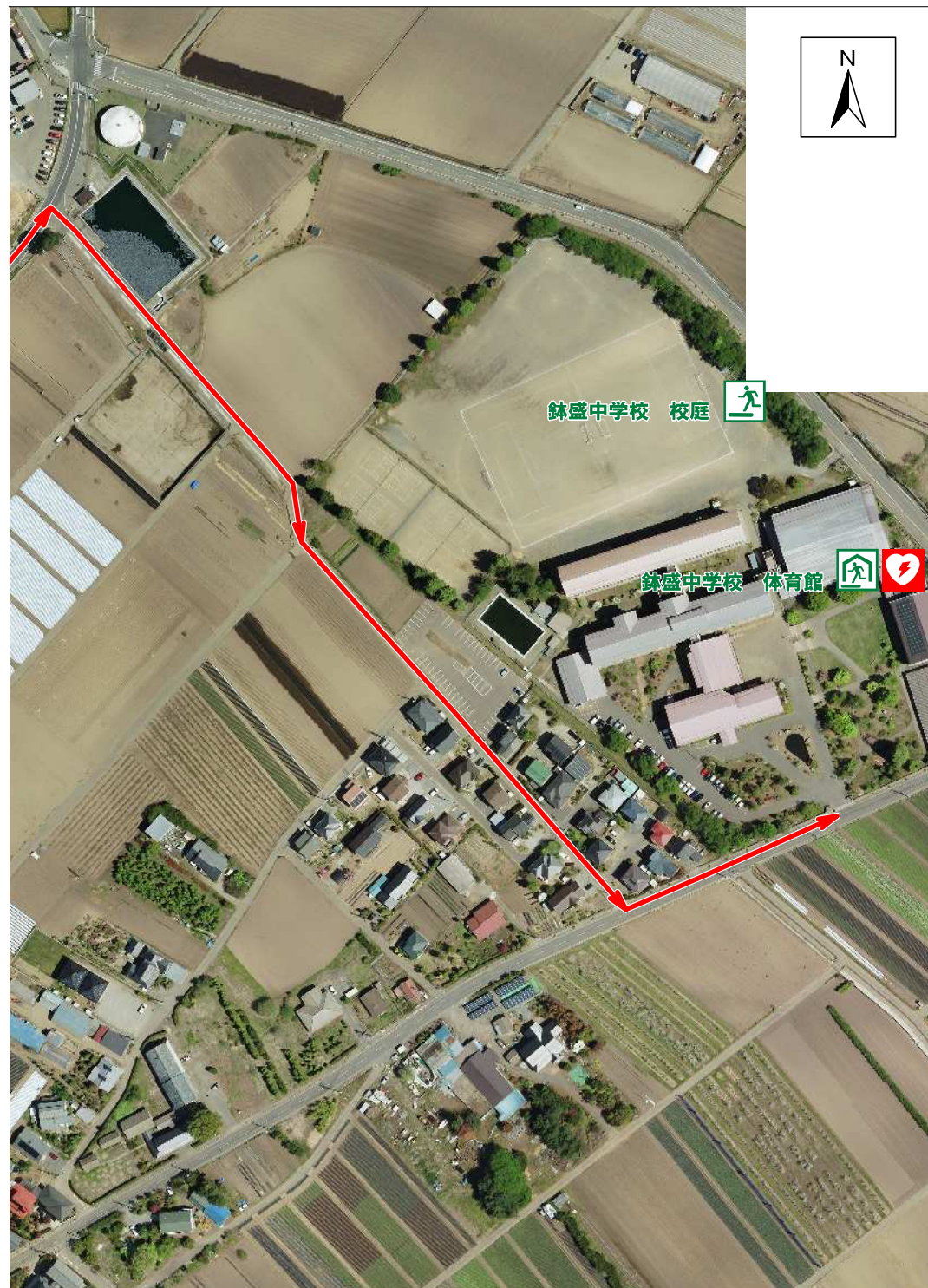
地区長



役場

自主避難する際は、班長に連絡し、避難表示として『タオル』を玄関先に縛り付ける。

※住民も自主避難する際、付近のタオルの状況を確認しながら、班長・地区長へ連絡する。

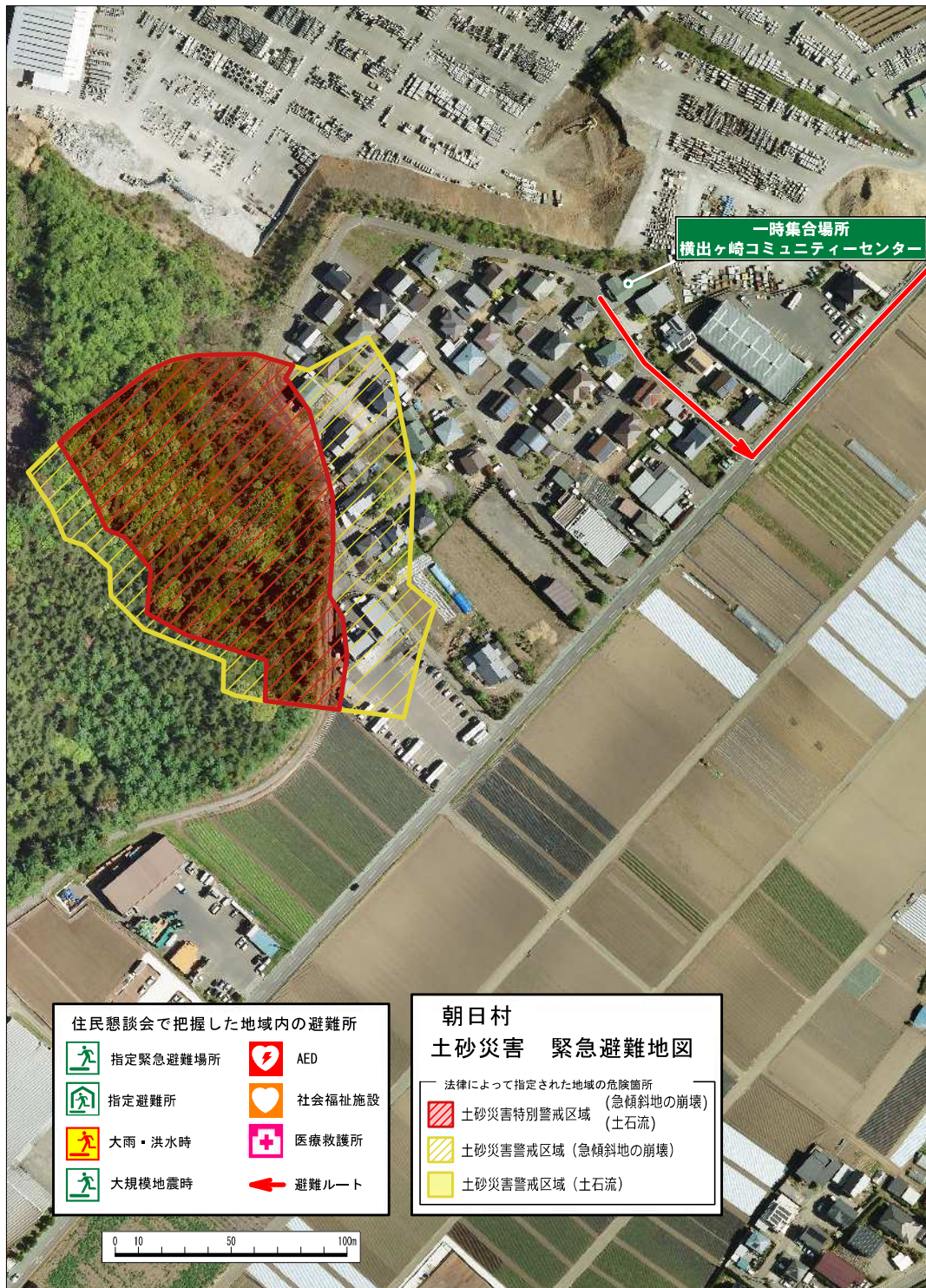


鉢盛中学校 校庭



鉢盛中学校 体育館





自主避難のルール

3. 避難経路 【“避難の呼びかけ”があり、村指定避難所へ避難する場合】

大雨・洪水時の村指定避難所は、鉢盛中学校です。

避難の際には、各組の班長に連絡するとともに、避難したことを示すために「タオル」を玄関付近にしりり付けて下さい。

また 夜間などで避難することが困難な場合は、無理な避難行動はとらないで自宅を含めて、がけや沢から離れたできるだけ丈夫な建物の2階以上へ避難して下さい。自宅や自宅付近の最も安全な場所へ避難して下さい。

ケース1 警戒レベル3 高齢者避難 発令

指定避難所の鉢盛中学校が開設された後、直ちに班長を中心に高齢者などを避難所に搬送する。

ケース2 警戒レベル4 避難指示 発令

一時集合場所となっている横出ヶ崎コミュニティセンターへ集合し、各班ごとに点呼確認ののち、避難ルートを通して鉢盛中学校へ避難する。

ケース3 警戒レベル5 災害発生

突発的な豪雨や逃げ遅れて避難が困難な場合は移動距離を短くすることを考え、自宅を含めて、がけや沢から離れたできるだけ丈夫な建物の2階以上へ避難して下さい。

自宅や自宅付近の最も安全な場所へ避難して下さい。

■ 5段階の大雨警戒レベル

村が発令					
高	警戒レベル	避難の情報	住民が取るべき行動	雨の情報	川の情報
	5	災害発生	命を守って！	大雨特別警報	氾濫発生情報
	4	避難指示	全員避難	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
	3	避難準備	高齢者など避難	大雨・洪水警報	氾濫警戒情報
	2	—	避難方法確認	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報
	1	—	最新情報に注意	早期注意情報	—
低					

